

Progressive, sporty, compact.

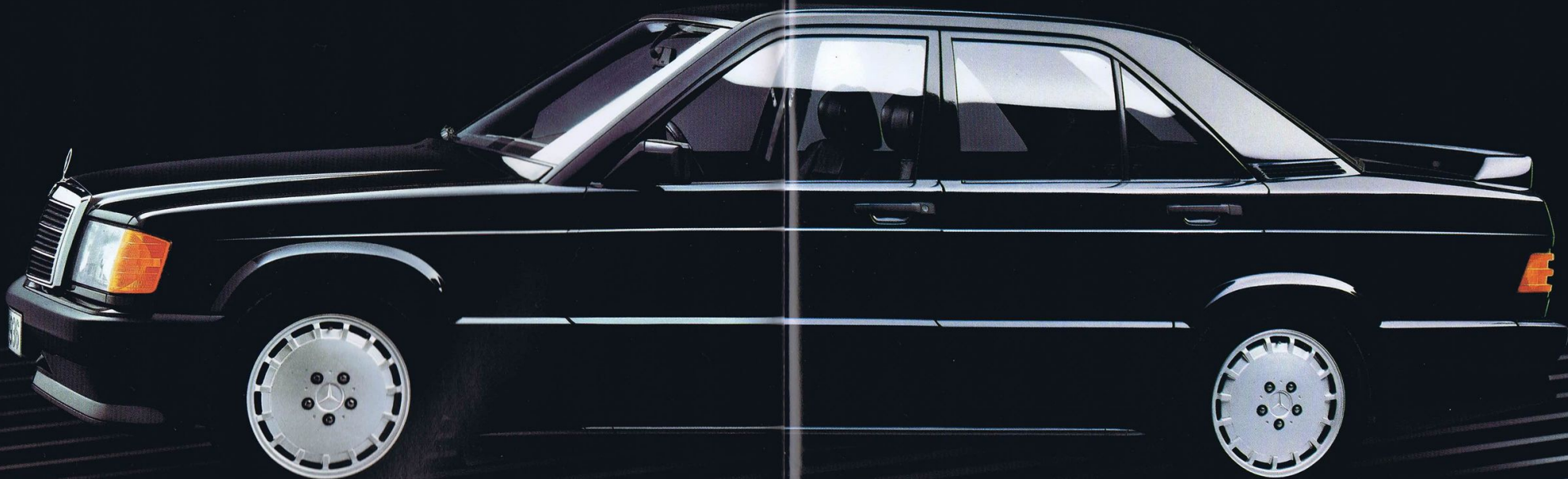
The Mercedes 190 E 2.3-16.



Progressive, sporty, compact.

The Mercedes 190 E 2.3-16.

メルセデスでなければのこのセンス—。
エアロパーツを装着して
これほどハンサムな車はかつて無かった。



190Eのセンセーショナルな、スポーティバージョン、2.3-16は極めて高いセンスで仕上げられたメルセデスならではの作品です。

単に、いくらかの特別装備を施したといったような姑息な手段でお茶を濁したものとまるで違った車です。

エンジニアリングにおいてもスタイリングにおいても細部に亘って徹底した高級なマシンのセンスを目指したロードカーを造り上げることに成功したのです。

190E 2.3-16こそメルセデスのエンジニアで

なければとうてい作りようもない充実したスポーツカーパフォーマンスを求める人の為にデザインされた作品です。このようなエクスクルージブなメルセデスでありながら決してスパルタンではなく、むしろゴージャスな装いにエンスージャストをシビレさせます。

何故、これほどに高いセンスの乗用車が生まれたのかは内外から大きな疑問として投げ掛けられておりました。その答えは190E 2.3-16自身がオーナーに向かって次のように語り掛けることでしょう。

『これほどポテンシャルの高いパワーユニットとシャーシを生み出した理由は、ダイムラー・ベンツAGのエンジニア達自身が如何に大変なスポーツカーエンスージャストだったかを示しているのです。』

190E 2.3-16用特別ボデーカラー。
Blue-Black metallic (DB 199)
Smoke Silver metallic (DB 702)

Power technology.

Big heart の高性能パワーユニット。

メルセデス・ベンツ 190E 2.3-16 のパワーハートは4気筒DOHC 16バルブエンジンです。基本的には既に230Eでお馴染み、信頼性の高いM102 4気筒。

もともとメルセデスの4気筒エンジンの伝統としてピクポアーとショートストロークの組合せによる余裕設計。

チューニングの種として充分なポテンシャルを備えたもってこいの素材なのです。

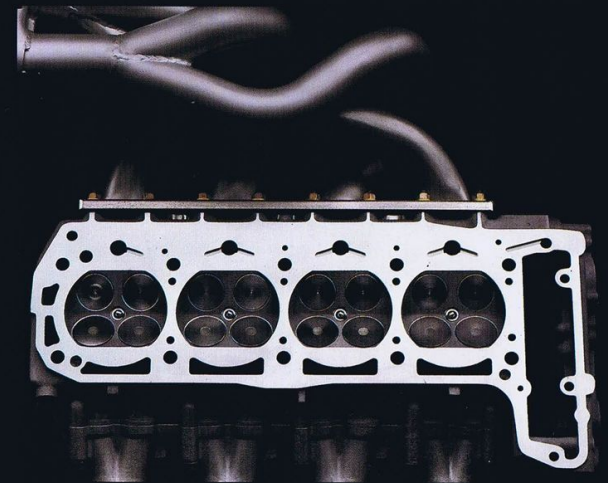
このエンジンはまたダイムラー・ベンツ社史上まったく例の無い設計方式が試みられました。

即ちその最大の秘密は英国のフォーミュラー・ワン用レーシングエンジンの設計で有名なコスワース社がデザインを担当したことです。

このこと一つをとってもダイムラー・ベンツ AGのこのエンジンに対する並々ならぬ意気込みを感じさせるマシーンです。

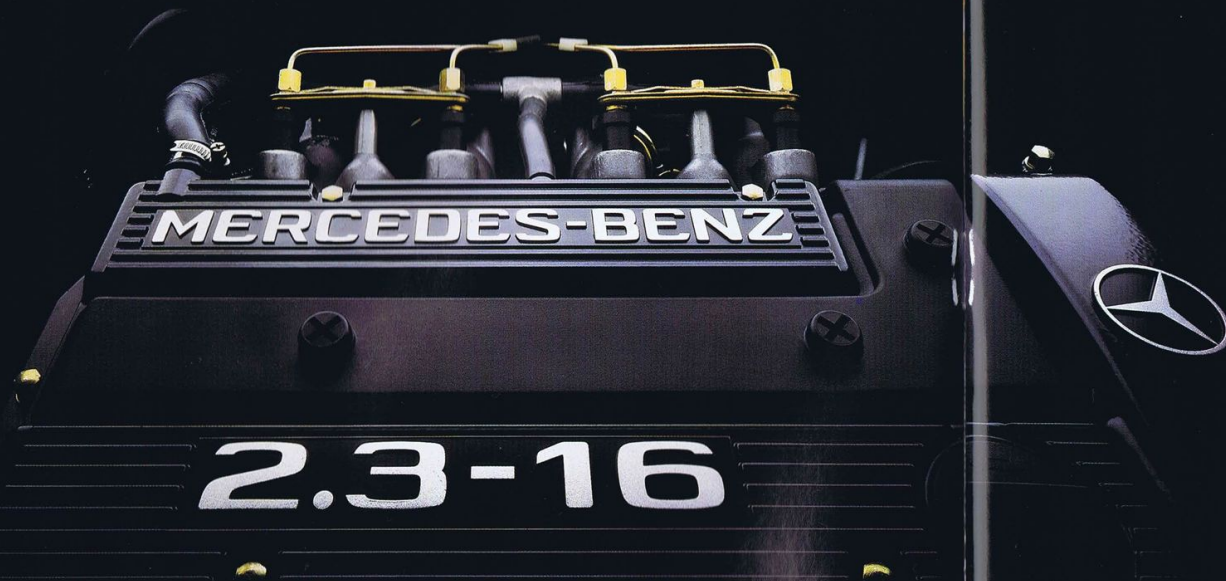
先ずエンジンを開けて、その美しい姿を楽しみたいものです。抜群に美しいマシーンです。ブラックの艶消し塗装を施した魅力的なツインカム・カバーはフロントのチェンケース上にスリーポイントスターのマークを配します。インターク側のカムカバーにMERCEDES-BENZ、エキゾースト側には2.3-16の文字を入れてあります。

ダブルオーバーヘッドカムの軽合金アルミ・シリンダーヘッドはクロスフロー原理に基き、各シリンダー毎に各々45度のアングルで4つのバルブ（即ち16バルブ）をセット、半球型



燃焼室とを組み合わせ吸入・排出をスムーズにして標準の8バルブ方式に比べてはるかに効率を良くしています。各々のカムシャフトはシングルローラーチェーンで駆動されています。カムはバケットタイプのタペットを介してインタークとエキゾーストバルブを駆動させています。このエンジンはオイルクーラーを標準で備えています。燃料噴射装置はポツシュKEジェットロニック（メカニカル/エレクトロニック コントロール）を採用しています。

M102 直列4気筒DOHC 16バルブ
2,297cc 圧縮比 9.7:1
ポツシュ KE ジェットロニック
出力 175PS/5,800rpm
5速マニュアルトランスミッション。又は4速オートマチックトランスミッション。



パワーハートの実力を存分に生かせる

シャーシを確立。

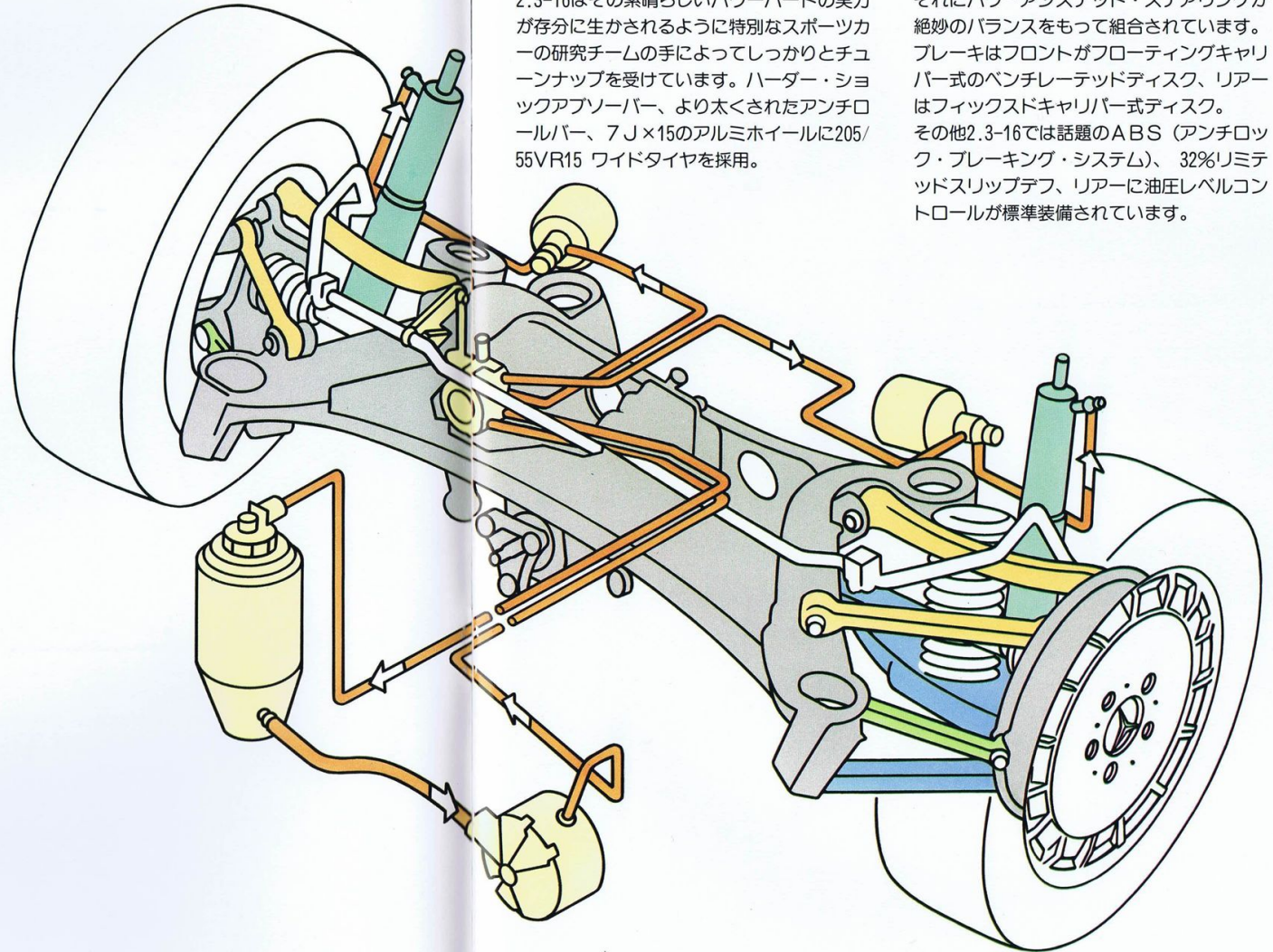
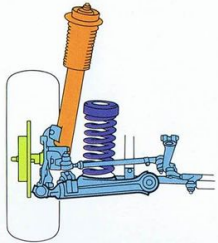
フロント・サスペンションは190Eシリーズで既に好評のショックアブソーバー・ストラットタイプを採用しています。

メルセデスのエンジニアはこれを基本に独自の味付けを施しています。

リアアクスルのノウハウは例のC111(走る実験室)で試されたレーシングサスペンションからフィードバックされたものです。

まるで木の葉の様に縦横に張り巡らせた5本のリンクがまさにマルチ方向に働き、並はずれたロードホールディングを得ることができます。

コーナーの途中であたかも足回りだけがひとまわり大きくなったかのような安定感が得られるのもそのお陰です。



2.3-16はその素晴らしいパワーハートの実力が存分に生かされるように特別なスポーツカーの研究チームの手によってしっかりとチューンナップを受けています。ハーダー・ショックアブソーバー、より太くされたアンチロールバー、7J×15のアルミホイールに205/55VR15 ワイドタイヤを採用。

それにパワーアシステッド・ステアリングが絶妙のバランスをもって組合されています。ブレーキはフロントがフローティングキャリパー式のベンチレーテッドディスク、リアはフィックスドキャリパー式ディスク。その他2.3-16では話題のABS(アンチロック・ブレーキング・システム)、32%リミテッドスリップテフ、リアに油圧レベルコントロールが標準装備されています。

The technology of overall economy.

美しいエアロチューンも
機能美と優れた感覚を語る。



一口に“エアロダイナミクス”といってもメルセデスの場合は極めて理論的に分析して独自のコンポーネンツに従ってポテースタイルのデザインが進められます。

『我々のポテースタイルの基本概念はバランスのとれた、セーフティな機能美を持った車造りにあります。

たとえCW値が少しばかり良くてもおかしなスタイルだったり乗り降りしがしにくいといった実用上マイナス点があるようでは困ります。先ず安全で機能的、そしてメルセデスらしい美しさ気品を備えていなければなりません。』190Eのチーフデザイナー ブルーノ・サッコはこう述べています。

『御覧ください この見事な機能美と優れた品質、それを物語る上等な質感を。』市場では数多くのチューナーが190Eのために後装着用のスポイラー類を盛んに投入しています。しかし、2.3-16のエアロシステム程徹底したデザインで目つ高品質にしてジャストフィットなものはありません。

『さすが御本家。綺麗な仕上げだなー』と業界筋もすっかり見直したという日く付きのものです。

190E 2.3-16のチーフデザイナー
ブルーノ・サッコ

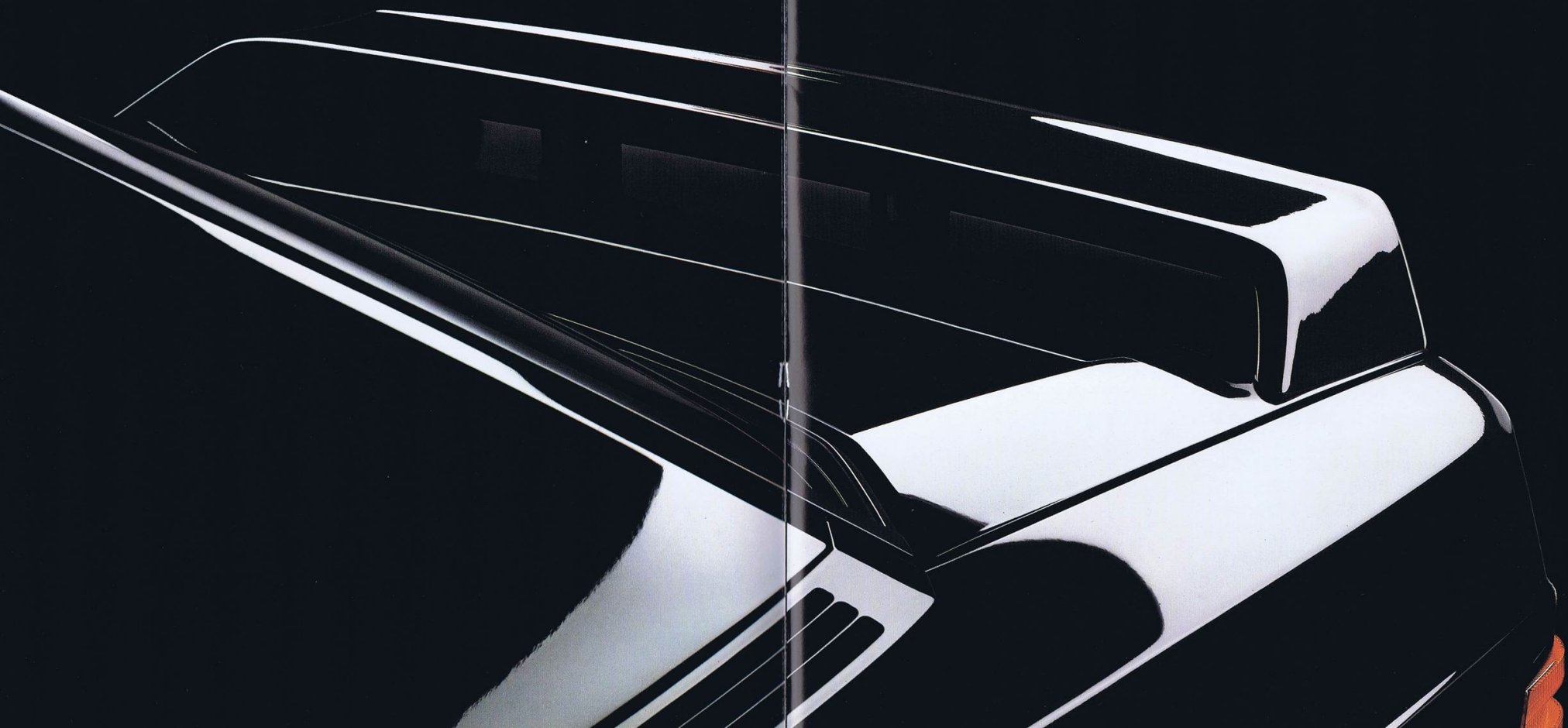
The technology of logical styling.

専用エアロシステムは、前後エアダムに始まり、太いタイヤをカバーするホイールアーチフレアー。サイドはフロントウイングモールディング。ウエストライン下側の脹らみを付けたドアモールディング、更にリアーサイド

モールディングとつなげ、側面下側にはドアシルカバーリングをつけ引きしめています。トランクリッド後端にウイングタイプのリアースポイラーを極めて大胆に立てる等の結果2.3-16はCW値0.32を獲得しています。

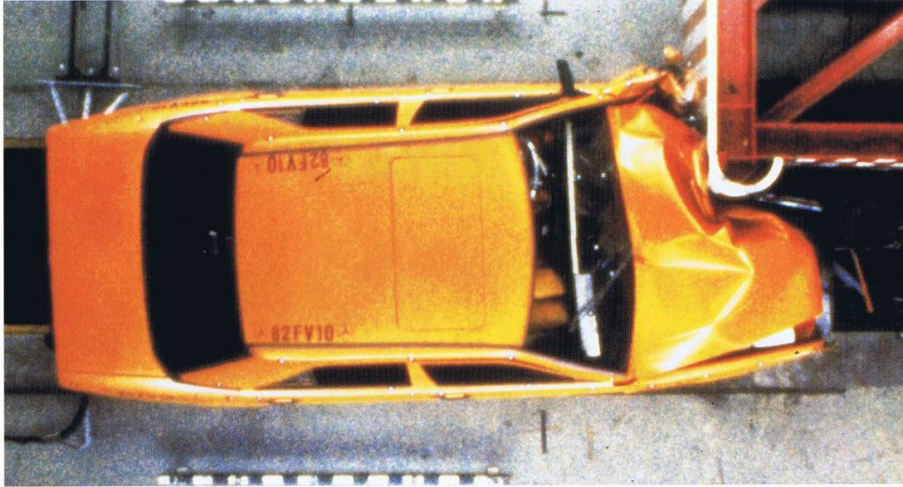
さらにフロントで45%、リアーで40%の揚力を押えることに成功しています。こうしてフル装備されたエアロシステムによって190 E 2.3-16は一層重厚なスタイリングで、あるアングルからは極く軽快に見え、そして夕暮れ

の前車のルームミラーにはレーシングブレードの凄味を強烈にたっぷりと見せつけるムード派でもあります。



Safety technology.

『メルセデス・ベンツに乗ったら先ずベルトを』
メルセデスの広告にはこう書かれています。



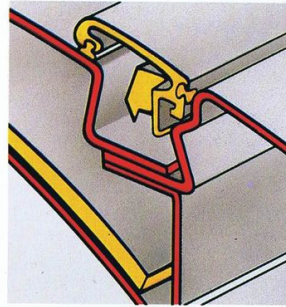
私共にとって安全とは先ず第一に事故を起こさないこと、またそのように充分に心掛けていただくことにあります。以前からメルセデス・ベンツの設計は優れたエンジンの性能をフルに引き出しても余裕をもったシャーシ、この何ともいえないバランスの良い走りが全ての安全の基本になっています。

先ず快適なドライビングが約束されることが最も大切な事です。

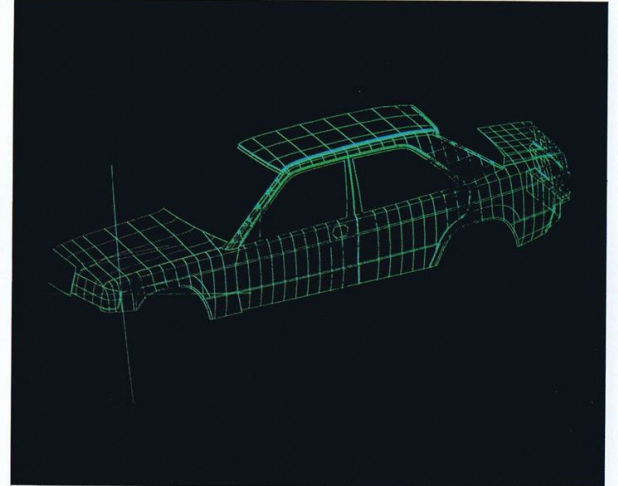
これが Active Safety (能動的安全性)です。次に、万が一事故が起きてしまった時にはメルセデスは40年間も研究を重ねてきたPassive Safety (受動的安全性)すなわち抜きん出た受身の技で被害を最小限に防ぐことが出来るのです。

例えば190Eは正面衝突の実験に於いてもまた一歩他に先んじています。

190Eのボデーは“正面衝突”しかも最も起こり易い左右どちらかに偏った衝突の仕方にも、最も好ましい衝撃吸収能力を発揮することに成功しています。その上フロント部分の衝撃吸収は2段階に行なわれるようにして更に効果を上げています。



ダッシュボードの下に横向きにメンバーを組み、横方向からの衝撃に備え、更にコラプシブル・コルゲートチューブ型セーフティステアリングシステムを採用しています。ボデーは特殊形状のパネルを組合せることによって剛性を高める方式を採用。例えばセンタービラー、サイドメンバー、ルーフフレームの接点用に特別デザインされたジョイントが高い剛性をもたらしています。

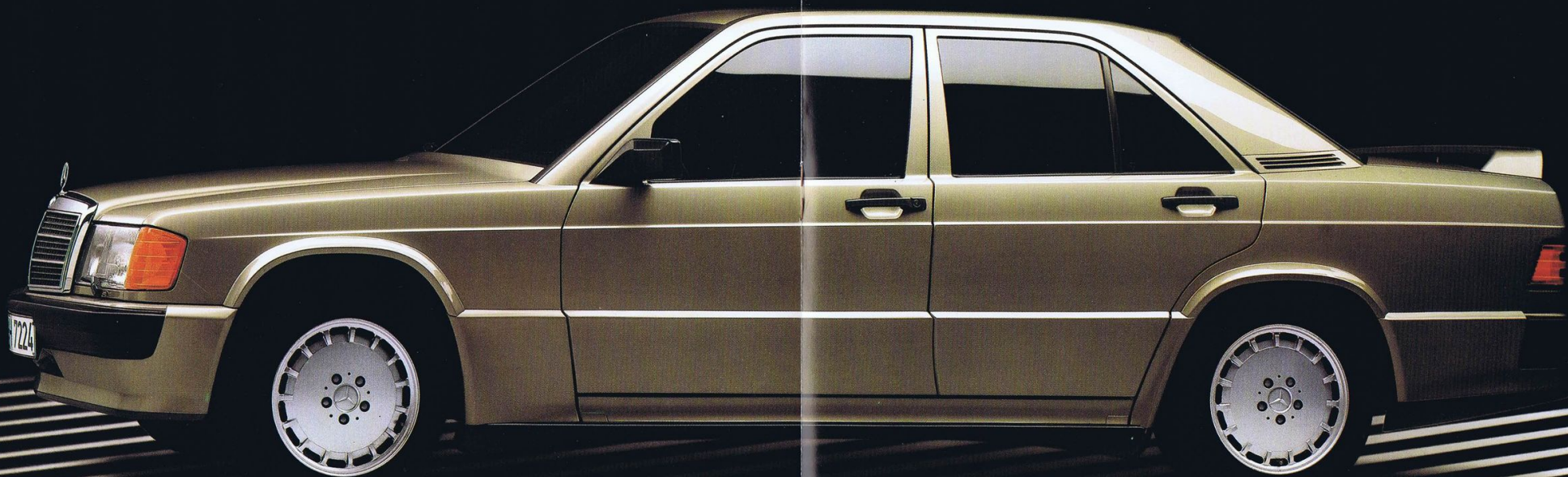


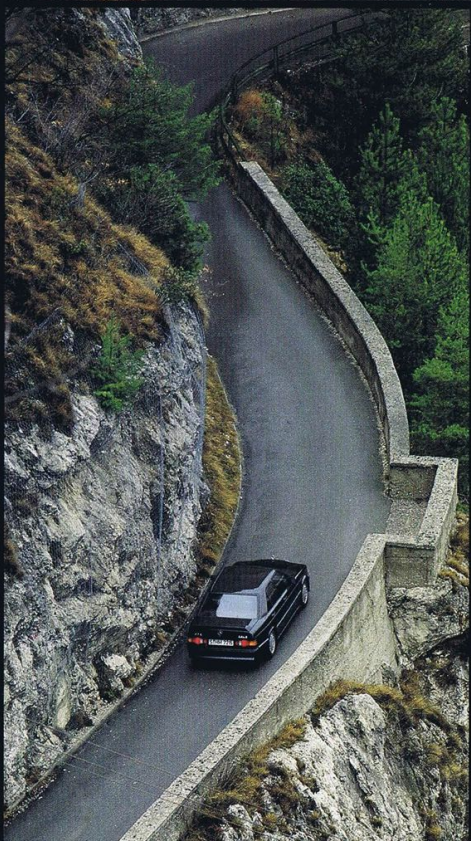
センタービラーに重なったドアエッジは事故の際にドアが開かなくなる危険性を減少させています。

新設計のウェッジピン・タイプのドアロックは極めて丈夫でしかも開閉音を低くしています。

ボデーパネルに凹みをつけた引き出しタイプのドアハンドルは横転時や側面衝突時の開放の危険性も最小限に押えています。

The technology of logical styling.





Comfort-technology.

190E 2.3-16は前後に4つのバケットシートを備えたフル4シーター・スポーティセダンです。



スポーツシートの専門家レカロ社と共同開発した精悍なルックスのフロントバケットシートは優れたサイドサポートを誇り、しかも乗心地の良いスポーティ・セダンに仕上がっています。

標準の生地はシートの中央部分を格子縞の白と黒のファブリック地と、両サイドをレザーレットで張り、サイドパネルもブラックのレザーレットで仕上げました（コード051）。ただしオプションで写真のようなオールブラックレザー（本革張り、コード251）も用意されています。ヘッドレストは4席共スタンダードです。リアはセンターにフォールディングアームレストをもった本格的なバケットシートタイプです。

Instruments and controls.

インテリア、
真の高級マシーン感覚のセンスで仕上げた。



ブラックを基調にこの史上稀に見るマシーン
感覚溢れた2.3-16のインテリアは思い切り高
級スポーツカーのムードに仕上げてみました。
ノーマルの190 Eと異なる点は先ず本革張りの
直径400mmのステアリングホイールとシフ
トレバーノブです。

時計付きレヴカウンターは勿論、ダッシュボ
ードのインストゥルメント類は殆んど190 E
に準じたレイアウトです。

エンジンオイル、冷却水、ウインドウ・ウオ
ッシャー液等の補充が必要な時、ウォーニン
グライトがダッシュパネル内に点灯します。
またセンターコンソールはラジオの下にアナ
ログの電圧計とエンジン油圧計、そしてデジ
タル・ストップウォッチの3つのメーターを
加えています。

その他デジタル式外気温度計も標準装備され
ています。

The technology of maximum reliability.

公式発表前に新記録を達成。



World distance records	Date	Vehicle	Average Speed	Time
25,000 km	12/21.08.83	190 E 2.3-16	247.549 km/h	100 h 59 min 23 s
25,000 miles	12/21.08.83	190 E 2.3-16	247.749 km/h	162 h 23 min 45 s
50,000 km	12/21.08.83	190 E 2.3-16	247.939 km/h	201 h 39 min 43 s

190 E 2.3-16の性能は販売される前に公式な耐久テストで華々しい記録を達成したのも高く注目されている一つの理由です。

即ち1983年8月、南イタリアのNardoサーキットで3台の2.3-16(プロトタイプ)が40°Cの熱風を突いてフルスロットルで9日間連続無故障で走り切ったのです。

平均時速は約250km/hで201時間以上、50,000kmの距離を休みなく走り続けたことになりました。

この過程で3つの世界記録を破り、30年間も続いた12の国際クラスに新記録を達成しました。

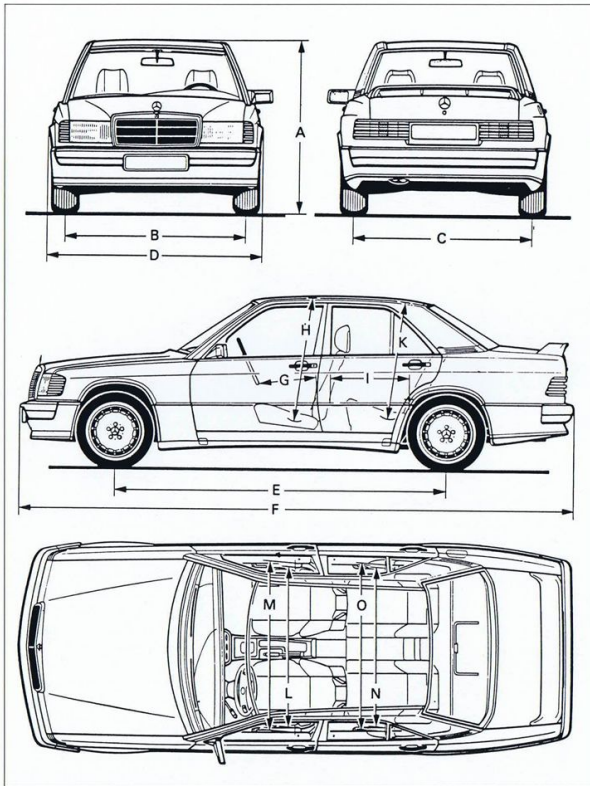
あまりにも簡単にやってのけてしまったので目立ちませんが良く考えて見るとこれは本当に偉大な記録であり、最も信頼のできるクルマであることの証しなのです。

Servicing technology.



このような特別のテクニカルフィーチャーを誇る190E 2.3-16でもスペシャルチューニングショップなどに持ち込まれる必要はありません。お近くの梅田ヤナセのサービスネットワークで完璧な部品の供給と、ノーマルの190E同様に十分なサービスを受けることができます。勿論存分にサービスメカニックスタッフのトレーニングを行いギャランティもフルに受けられます。このような完備したアフターサービスもメルセデスの品質のレベルを示す一例にすぎません。

Mercedes-Benz 190 E 2.3-16. Technical data.



●寸法 (mm)

A 全高	1,360
B トレッド(前)	1,445
C トレッド(後)	1,430
D 全幅	1,705
E ホイールベース	2,665
F 全長	4,430
G ステアリングホイール-ドライバーシート間	475
H 前シート高さ	965
I ドライバーシート-リアシート間	636
K 後シート高さ	931
L 前車室幅	1,269
M 前シート幅(ショルダー高さ)	1,360
N 後車室幅	1,298
O 後シート幅(ショルダー高さ)	1,352
トランクスペース	385

●型式 E-201034型

●エンジン

エンジン型式	1023型
種類・シリンダー数	DOHC 4気筒
総排気量 (cc)	2,297
ボア×ストローク(mm)	95.5×80.2
圧縮比	9.7
最高出力 (DIN PS/rpm)	175/5,800
最大トルク (DIN kgm/rpm)	22.9/4,750
燃料供給方式	メカニカル/電子燃料噴射
使用燃料・タンク容量 (ℓ)	無鉛ハイオクタン 70

●諸装置

トランスミッション	4速トルコン A/T	5速 M/T
変速比	4.249 2.408	4.075 2.518 1.766
	1.487 1.000	1.263 1.000
最終減速比	3.267	
フロントアクスル	独立懸架式：ストラット式、ショックアブソーバー(ガス封入式) コイルスプリング、スタビライザー	
リアアクスル	独立懸架式：マルチリンク式、オートレベルリングコントロール コイルスプリング、スタビライザー	
ホイール	7J × 15	
タイヤサイズ	205/55 VR 15	
ステアリング	パワーアシスト付リサキュレーティングボールタイプ	
ブレーキ	4輪パワーディスクブレーキ	

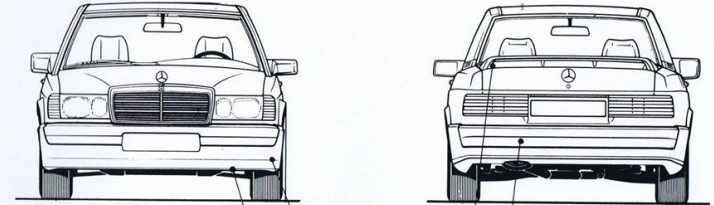
●重量・定員

車両重量 (kg)	1,320	1,310
定員 (名)	4	

●性能

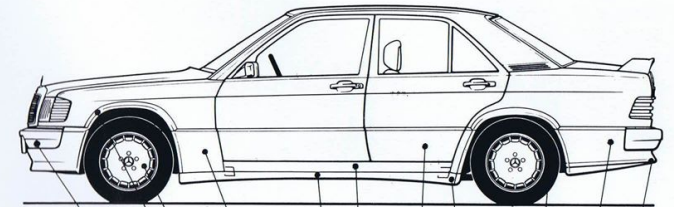
登坂能力 (tan θ)		5.0
最小回転半径 (m)		

2.3-16のエアロシステム。



Bottom covering painted in DB 7167
Front covering painted same colour as car

Rear protective strip painted in DB 7167
Rear spoiler painted same colour as car



Front protective strip painted in DB 7167

Front wheel arch flare painted same colour as car

Light-alloy rim painted in DB 9700 silver

Front wing moulding painted same colour as car

Door-sill covering painted in DB 7167

Side member covering painted same colour as car

Door mouldings painted same colour as car

Cover of aperture for car jack painted same colour as car at top, DB 7167 at bottom

Rear wheel arch flare painted same colour as car

Rear side moulding painted same colour as car

Rear-end covering (bottom) painted in DB 7167

DB 7167 = matt dark grey

いいものだけを世界から



Mercedes-Benz.

good 日常 days

ヤナセ

総輸入元
ウエスタン自動車株式会社
東京都港区芝浦一丁目6番42号
TEL: 03-432-1411 (受付)